

広報
たまたま

激突、闘志むき出し

【第43回岩手県学童相撲大会の模様：関連記事9ページ】



No
1228

今号の主な内容

特集	
人口減少問題と移住・定住を考える	2～5
知っていますか「ヤングケアラー」	6
天空海闊	7
町のわだい	8～9

CONTENTS

11月1日号 2021

特集

人口減少問題と移住・定住を考える

町外から「ひと」を呼び込むために



「若者の町外流出」と「出生率の低下」……。どれも、地方が直面する問題で人口減の大きな要因と言われています。今年5月に公表された令和2年国勢調査（令和2年10月1日現在）の人口速報では、本町の人口は1万4332人と前回（平成27年）の1万5826人よりも1494人減少。この右肩下りの動向は町の第2期人口ビジョンの将来人口推計でも示されていて、令和22年には1万人を割ると予測されています。町では人口減に歯止めを掛けようと平成30年度に移住コーディネートセンターを配置し移住者を増やす対策を進めているところですが、町の事業をきっかけに昨年度には6人、本年度は9月末時点で9人が町内に移り住むなど、取り組みに対する反応も見え始めています。今号では、町の移住・定住をめぐる動きにスポットを当てながら、人口減少問題と町外から「ひと」を呼び込むための方策などを考えます。

若者の転出や出生率の低下が人口減の要因に

町の人口は、国勢調査によるとグラフ1のとおり昭和55年の2万5321人をピークに減少し続け、今年5月に公表された令和2年の人口速報では1万4332人と、40年間でおよそ1万1千人減少しました。町が昨年度末に策定した第2期人口ビジョンの将来人口推計（グラフ2）では今後も人口減が進み、令和22年には9207人と遂に1万人を割ることが見込まれています。

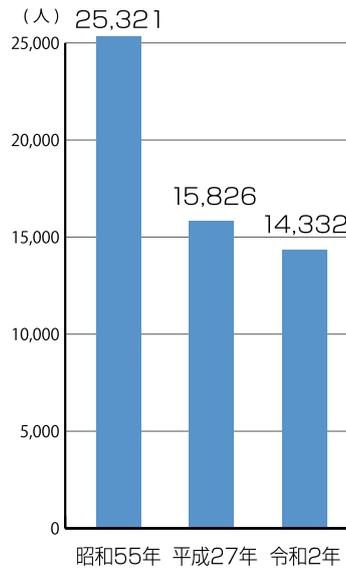
人口減の要因とされる若者の転出の状況を見てみると18歳が多く、過去4年間（平成28年～令和元年）では平均で43人の転出超過（転入者数を上回る人数）となっていて、主に進学や就職をきっかけにしたものと見られます。

一方、平成12年に201人だった本町の年間出生者数は、令和2年で67人と、20年間で3分の1まで減少。1・88人だった合計特殊出生率（一人の女性が15歳から49歳までに産む子どもの数の平均）は、過去5年間（平成25年～29年）で1・60人になっていて、出生率の低下も人口減の要因となっています。

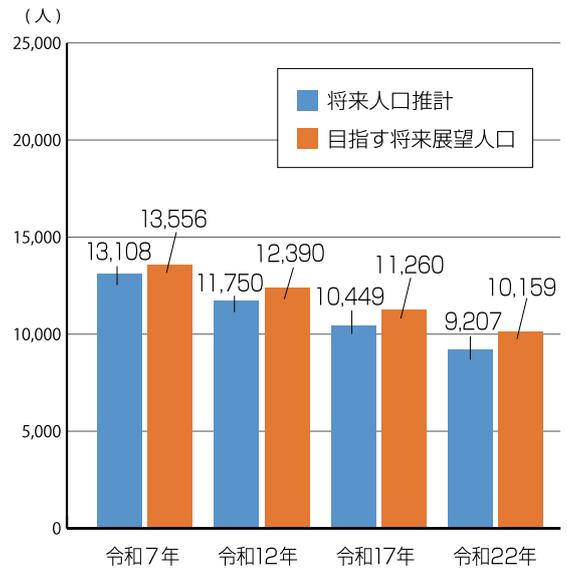


「移住お試し住宅」で山田町での生活体験ができます

■グラフ1 国勢調査人口
※令和2年は速報値



■グラフ2 将来人口の展望
(第2期人口ビジョン)



■令和2年度に移住した6人

移住者	年齢	性別	移住元
Aさん	30代	男	千葉県
Bさん	60代	男	県内
Cさん	50代	男	県内
Dさん	10代	男	県内
Eさん	10代	男	県内
Fさん	10代	男	県内

※町の移住・定住促進事業をきっかけに移住した人々です。

人口減少が進む町では、本町に興味や関心を持っている人たちに一人でも多く移住・定住に前向きになってもらおうと、平成30年度に移住コーディネートや支援ができる体制づくりと受け入れができる仕組みづくりを進めてきました。

町のホームページなどを活用した町の魅力発信や移住相談に加え、令和元年度には移住希望者が山田型住宅のモデルハウスに滞在し生活体験できる「移住お試し住宅」をスタート。さらに2年度には空き家を提供している人と結び付ける「空き家バンク」や住宅リフォーム補助制度などを立ち上げています。

6 昨年度の移住相談44件
人が町内に移り住む

町総合計画の後期基本計画（令和3年度～7年度）の策定の際に行った「中高生アンケート」（令和2年9月）で、町外へ出る理由として最も多かったのが「学校や職場がない」ことでした。進学などで一度町を離れた若者

各種対策を進め令和22年の1万人維持を目指す

町が受け付けた移住相談件数は、令和元年度が延べ23件、2年度は延べ44件と倍増し、町の新たな取り組みをきっかけに町外からの問い合わせも増え、昨年度は6人、本年度は9月末時点で9人が移住し、本町での生活を始めています。

が町に戻ってくるのは、卒業後の就職や結婚、親の介護などのタイミングが多いため、この年代の人たちをどのようにして増やすかなどが課題として挙げられています。

このため、町は令和22年度までにこの年代のUターン・移住人口を3割増やすことや合計特殊出生率を1・60人から1・80人まで改善させることを目標に、若者の雇用場の確保や若い世代の結婚から出産、子育てまでを支援する地域づくりなど「第2期山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げている施策を中心に対策を進め、グラフ2で示す将来展望人口のとおり、令和22年の1万人台維持を目指しています。

次ページに続きます

町総合戦略

「中高生アンケート」結果から

※令和2年9月実施から抜粋

- 「町外に住みたい」と回答した人で高校卒業後に山田町に住まない理由（上位回答）
 - ①学校や職場がない・・・47.3%
 - ②通学や通勤が不便・・・21.8%
 - ③買い物をするところがない・18.2%
- 山田町に住み続けたい・住みたいと思ってもらうための効果的な方法（複数回答・上位回答）
 - ①交通の便の充実・・・33.5%
 - ②就職に関する支援・・・32.6%
 - ③出産・子育てに関する支援・28.5%
 - ④住まいに関する支援・・・25.5%
 - ⑤移住してくる人への支援・・・21.8%



移住者対談 「やまだ暮らし」で思うこと

森 昨年、藤澤さんは埼玉県から、神子夫妻は神奈川県からそれぞれ山田町へ移住されました。山田町へ移住を決意した決め手は何でしょうか。

藤澤さん 私は、出身の盛岡市の実家へ戻ろうかと考えていた矢先に、知人から町内の事業所を紹介されました。住むには不便な環境かなと心配もありましたが、アウトドアが好きな自分には、海が近いというのは魅力的で、山と海の両方を楽しめる環境でもあったので、山田町に移住を決めました。昔に比べれば、実家との往来も負担なくできる道路状況になったことも決め手でした。

神子夫妻 私たちは、宮古市に嫁いだ娘家族の近くに住みたくて移住先を探していました。実際に町の「移住お試し住宅」を利用して数日過ごしたところ、



進行役・森 宏子
(移住コーディネーター)

本町に移住し、「やまだ暮らし」をスタートさせた人たちが、移住を決めた理由は何なのでしょう。——。実際に町内で生活してみて、本町の魅力や弱みをどのように受け止めているのでしょうか。そこで、9月29日、町政策企画課の森宏子移住コーディネーターが、「やまだ暮らし」で思うこと」をテーマに、町の取り組みをきっかけに今年移住された二組と対談し、町外から「ひと」を呼び込むために必要なことなどを話し合いました。



埼玉県(越生町)から移住した
藤澤 義友さん(45)

藤澤さんは、山田地区にある物件に町のリフォーム補助金を活用し、今年7月に移住。町内の事業所に就職しました。アウトドアが趣味で、マリンスポーツなどにも興味をお持ちです。

三陸沿岸道路を使えば30分以内に孫に会える環境であることが分かり、いい物件も見つかったので、山田町に住むことにしま

した。極端なことを言えば、三陸沿岸道路が無かったら山田町は移住の候補に挙がらなかったと思います。

■移住してみて感じること

景観文句無し、町民の優しい人柄に安心

森 移住してみて、今の感想をお聴かせください。

藤澤さん 私の住んでいる家からは山田湾が見えるのですが、

■移住支援金交付事業

東京圏から本町へ移住し、就業や起業した人の経済的負担を軽減するために、2人以上の世帯で100万円、1人世帯で60万円交付します。

■移住定住促進リフォーム補助金交付事業

宮古市、大槌町、釜石市を除く町外から転入した人が、改修が必要な一軒家に住む場合の工事費用の半額(100万円を上限)を補助します。

■漁業就業者育成協議会家賃補助事業

漁業に就業するために移住し賃貸住宅に居住する

人に、家賃(月額25,000円を上限に最長1年間)を敷金・礼金(15万円を上限)に補助します。

■豊かな浜の担い手育成支援事業

新規に漁協の正組合員になり、専業として漁業を営む人や、新たな養殖種目を始める人に、補助金(新規漁業就業型の場合は30万円)を交付します。

■結婚新生活サポート補助金交付事業

町内で結婚生活を始める新婚世帯に、住居費と引越費用の一部を助成します。

※このほかにも移住者向けの事業を行っています。



その眺めがとても美しいです。もつと町のことを知るためにいろいろな場所に出歩きたいと思っています。

神子夫妻 住民の方々が、気さくで優しいですね。会えば声を掛けてくれます。心配だった人間関係の不安は無くなりました。環境面で言えば、景色は本当に素晴らしい。特に荒神海水浴場が私たちのお気に入りです。正直なところ、介護保険料や健康保険料、食料品は都市部に比べて高い気がします。



神奈川県(海老名市)から移住した
神子 芳弘さん(69)・多美枝さん(69)

神子夫妻は、町の移住お試し住宅やリフォーム補助金を活用して、今年5月に船越地区に移住。週に一度は、お孫さんが住む宮古市に出掛けています。天気の良い日は、荒神海水浴場で景色を眺めながら昼食をとり、のんびりと読書を楽しんでいるそうです。

■山田町の「強み」・「弱み」

三治道生かせる、仕事・教育の選択に限り

森 ほかの自治体にはない、山田町の「強み」と「弱み」はどういうところだと思いますか。

藤澤さん 海と山が両方ある自然環境は強みですね。私のようにアウトドアが趣味の人には最適な所です。ただ、生活するには「仕事」が必要。仕事の選択肢が少ないのは弱みですが、三陸沿岸道路で通勤圏が広がったのは強みに変わると思います。
神子夫妻 三陸沿岸道路で内陸部にアクセスしやすくなったのは強みとして多方面に活かせると思います。若い世代の立場で考えると、働く場所もですが、教育体制も学校の選択肢が少ないことが弱みだと思います。年齢関係なく、大病したときの

医療体制も都市部に比べると弱い部分ですね。

■「ひと」を呼び込むために求められるもの

若者が働きやすい環境、特徴ある教育を

森 ひと口に人口を増やすことと言っても、とても難しい大きな課題ですが、もっと多くの「ひと」を山田町に呼び込んでいくためには、何が求められると考えますか。

藤澤さん 「仕事がない」のであれば「仕事をつくれる人」に焦点を当てることも大事だと思います。ネット環境やオフィス施設などを整備して提供できたら、移住を考える人も増えるの

ではないでしょうか。

神子夫妻 今の時代、会社に行かなくても働ける状況ですから、テレワーク勤務がしやすい施設が整うといいですね。教育の面で言えば、若者や子育て世代は、通り一遍の内容では見向きもありません。山田町ならではの「特徴ある教育」をアピールできると「ここで子育てをしたい」と移住に前向きになる人も増えるかもしれませんね。

時代をとらえ、魅力高める取り組み必要

森 町では、人口減少に歯止めを掛けるために町のホームページなどで紹介している移住・定住対策のほかにも、優良企業を誘致するための優遇制度や就業の場を増やすためのさまざまな取り組みを進めています。お二組からご意見などをお聴き

し、時代の流れや社会環境の変化などをしっかりとらえ、若者の働く場の確保や子育て世代に目を向けた特色ある教育の場づくりなど、必要な対策を進めていくことが重要だとあらためて感じました。

とも連携し総合的、横断的に進め、移住者が求める本町の魅力をこれまで以上に高めていくことができないのではないかと思います。これからも移住コーディネートとして、町の魅力を全国に発信していきたいと思えます。

対策あれこ
町はこんな事業
取り組んでいます



子どもたちの笑顔を守るために私たち大人ができることを考えてみませんか

知っていますか 「ヤングケアラー」

11月は「児童虐待防止推進月間」

子どもたちの未来、地域で守ろう

皆さんは、家族の介護や家事、身の回りの世話などの負担を強いられている18歳未満の子ども「ヤングケアラー（子どもケアラー）」のことを知っていますか。近年、深刻化する児童虐待問題に加え、手伝いの範囲を超えて年齢に見合わない責任や負担を強いられている彼らの存在が社会問題化し、その多くは負担の大きさに対する自覚がないため、地域で相談できる環境づくりなどの支援の必要性が指摘されています。ここでは、11月の「児童虐待防止推進月間」にちなみ、国の調査結果などからヤングケアラーへの理解を深めながら、子どもたちの未来を守るために私たちにできることは何かを考えます。



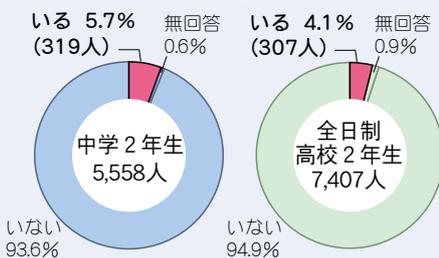
家族の世話する子どもは 中学2年生の17人に1人

今年3月に国が公表した「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」では、調査対象となった中学2年生約5500人の約17人に1人、全日制高校

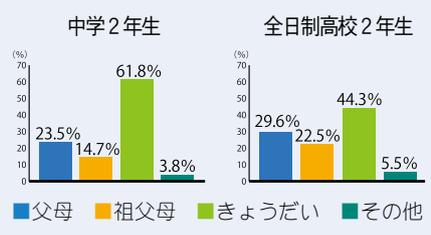
国による実態調査

ヤングケアラーの実態に関する調査研究
(厚生労働省・文部科学省)
調査時期：令和2年12月～令和3年2月

■世話をしている家族がいますか



■誰の世話をしていますか(複数回答)



2年生約7400人の約24人に1人が家族の世話をしていることが分かりました。世話の対象で最も多いのが「きょうだい」で、次に多いのが「父母」、その次が「祖父母」となっていて、世話をしている子どもの約6割が周囲の人に相談をした経験が無いと回答しています。世話をしている状況や負担の大小は、家庭の事情や本人の受け止め方

大人に相談しやすい環境づくりが必要

皆さんの周りに「家族の世で大変そうなお子」や「家族がアルコールやギャンブルなどの問題を抱えている子」などはいませんか。もしかしたらその子はヤングケアラーかもしれませぬ。自分の家族に相談できる状況にない子どもたちのために、地域

で見守りや声掛けなどの支援に取り組み、子どもが大人に相談しやすい環境づくりを進めることが求められています。その環境づくりは、周囲の私たち大人がヤングケアラーのことを正しく理解することから始まるのです。

◆問い合わせ 町健康子ども課母子保健係(☎82-3111内線604)へどうぞ。

その自身を追い詰める 本人や家族の「当たり前」

ヤングケアラーとしての経験が、生活力の向上や病気・障害への理解が深まるなど、子どもの成長に良い影響があるとされる反面、家族や親戚からも「この子がやって当たり前」と思われてることで、子どもたちは自己犠牲の状況から抜け出せなくなりません。

によって異なりますが、幼いころから家事や家族の介護などを担っていると「自分がやって当たり前」「自分がやるしかない」と思い込み、負担の大きさへの自覚がありません。

◆問い合わせ 町学校教育課総務係
(☎82-3111内線313) へ。

申し込み
～1月31日

町出身の学生たちを応援 ふる里から特産品を送ります

町教育委員会では、本町出身の学生などに、町の特産品を贈る「山田町学生応援宅配便事業」をスタートします。

これは、新型コロナウイルスの影響により帰省を自粛している学生を応援するため実施するもので、本町出身か山田高校を卒業した学生が対象です。



ふるさとの味をお届けします

※学生証や卒業証明書のコピーは写真データの送付でも可能としますが、不鮮明な画像で名前等が確認できない場合は使用できないことがあります。

◇申込方法 町教育委員会で配布する申込用紙に必要事項を記入し提出
※町ホームページから直接申し込みもできます。
◇必要書類 ▼申込用紙▼
現在進学している学校の学生証または在学証明書のコピー▼山田高校の卒業を証明する書類のコピー（町外出身者の方のみ）

特産品をお贈りするためには申し込みが必要となりますので、期限までにお申し込みください。
◇対象 令和3年4月1日時点で次のすべての条件を満たす方が対象となります。
▼現在大学、短大、専門学校、高等学校に進学している
▼山田町出身または山田高校を卒業している
▼親元を離れて生活している



こちらのQRコードから申し込みページに進めます

教育相談

おなやみ
専用☎82-0783

学校や勉強のことなどで悩みがある方はお気軽にご相談ください。
▷相談日 毎週月・火・木
※年末年始、祝日を除く
▷時間 午前9時～午後4時

◇申込期限 来年1月31日
◇注意事項
▼特産品の贈呈は学生1人に1回限りとなります。
▼申し込みは本人だけでなく、ご家族からの代理申請もできますが、申し込みが重複した場合お贈りできるのは1回となります。
▼送り先は本人の居住地のみとし、郵便局止めや代理の受け取りはできません。
◇申込先・問い合わせ 町教育委員会事務局学校教育課（☎82-3111内線313）へ。

鯨峰爽やかに

世の中にはどう考えても納得できない、理解できないということがあります。皆さんは誕生日が同じ日の人がいる確率が50%を超えるのは何人集まったときだと思えますか？▼単純に考えると366人いれば必ず誕生日が同じ人がいるはずですが、その半分183人も集まれば十分だろうと思えば、その人数だと99%の確率で同じ人がいることになるそうです▼なんと正解の人数はたったの23人。これは数学の確率問題で計算すると解答を導き出すことができます。しかし、この答えを知ったときはどうにも納得がいかず、それ以降しばらくの間は23人以上の学級があると、誕生日が同じ人がいないか確認したものでした▼その結果は当然いたりいなかったりと様々でしたが、トータルするとやはり誕生日が同じ人がいる学級の割合は半数を超えていたと記憶しています。どうしてなのでしょう。か。

教育長 佐々木 茂人

グラウンド・ゴルフ交流会に67人 元気はつらつと腕前競い合う

狙いを定めて「入れっ」——。10月14日、陸中青少年の家(佐々木賢治^{けんじ}所長)が主催する第60回マリナランド陸中杯グラウンド・ゴルフ交流会が開かれ、初会場となった船越家族旅行村の水辺公園に町内外から67人が集まりました。参加者らは秋晴れの中、元気はつらつと合計16ホールを回り、腕前を競い合いました。この日、町内で活動をする船越クラブの方々も参加。同クラブの山崎勝英^{かつせい}さん(84)は「芝生の凹凸に苦戦を強いられましたがそれも楽しかったです」と感想を話していました。



巽の勢 佐々木会長が県知事表彰 会員の交流の場づくりに尽力

令和3年度岩手県社会福祉事業功労者表彰で、田の浜老人クラブ会長の佐々木茂男^{しげお}さん(88)が、岩手県知事表彰を受賞し、10月10日に田の浜コミュニティセンターで表彰状の伝達が行われました。平成16年9月に同クラブの会長に就任し、会員同士の交流の場づくりなどに尽力された佐々木さん。平成21年4月からは山田町老人クラブ連合会副会長を兼務し、同会の育成指導にも力を注いできました。「今後も会のために与えられた職務をまっとうしたいです」と気持ちを新たにしています。

「わらびの会」でイモ掘り会 今年は「でっかく」育ったよ

10月10日、轟木地区教育振興運動実践協議会「わらびの会」(臼澤文男^{ぶんお}会長)は、轟木・織笠地区の児童6人とイモ掘り会を行いました。この日収穫したのは、6月に参加者らが自ら旧轟木小学校地内に苗植えたサツマイモで、シャベルで優しく土をかき出し、大きく育った紅色のイモが次々と顔をのぞかせると、児童たちは「でっかいのが獲れた」と大歓声。昨年も参加したという芳賀杏朱^{あんじゅ}さん(11)は「今年は大きいサツマイモがたくさん獲れてうれしいです」と大喜びでした。



豊間根小5年生が稲刈り体験 額に汗にじませ収穫作業

10月4日、豊間根小学校(門田徹^{とほる}校長、児童126人)の5年生21人は、稲の刈り取り作業に取り組みました。稲作体験の一環で、5月に自ら手植えをした地元農家の水田で行われたもので、稲は穂が大きく垂れるほどたわわに実り作柄は上々。児童たちは農家の指導の下、額に汗をにじませながら手鎌で根元を刈り取り、一束一束にくる作業に挑戦していました。参加した木村優花^{ゆうか}さんは「初めての稲刈りで大変でしたが、精米して家族に食べさせたいです」と大きな収穫に笑みを浮かべていました。



町のわだい

今月の題字 芳賀 啓人君 (豊間根小3年)



第37回町スポ少野球新人大会 団結見せ攻守ともに好プレー

第37回山田町スポーツ少年団野球新人大会が9月26日、町民総合運動公園野球場で開かれました。コロナ禍で十分な練習も行えない状況で迎えた大会でしたが、出場したオール豊間根野球スポーツ少年団と山田野球スポーツ少年団の選手らは、声を掛け合いながら団結し攻守ともに好プレーを見せていました。結果はオール豊間根野球スポーツ少年団が優勝。個人賞には、同団から最優秀選手賞に瀬川琥樹君(10)、打撃賞に芳賀莉凰麗さん(10)、山田野球スポーツ少年団からは、優秀選手賞に戸塚蒼空君(11)、敢闘賞に佐藤然君(10)がそれぞれ選ばれました。



県学童大会で上位入賞 山田小相撲クラブが団体準優勝

10月17日に町相撲場で開かれた第43回岩手県学童相撲大会で団体戦初出場の山田小学校相撲クラブが準優勝、個人戦でも6人が上位入賞する活躍を見せました。今大会が最後の試合となった稲川颯介君(6年)は「優勝できず悔しいです。卒業後も相撲を続け力士になりたいです」と闘志を燃やしていました。大会には県内6市町から約50人が参加し熱戦を展開しました。

◆個人入賞者▶男子1・2年の部2位…田代啓人▶同3年の部2位…佐藤大斗▶同4年の部2位…織笠克樹、3位…伊藤佑功▶同5年の部3位…豊間根拓夢▶同6年の部2位…稲川颯介(敬称略)



山田小学校相撲クラブの皆さん

みんなで始める

SDGs



最近、SDGs(エスディーゼーズ)という言葉をよく耳にしますが「意味が分からない」「私には関係なさそう」という人も多いと思います。実は、SDGsと私たちの生活は密接に関係しています。前号に引き続きSDGsの取り組みなどを紹介します。



節電・節水の心掛けもSDGsの取り組みです

ゴール6
安全な水とトイレを世界中に



世界では、約22億人が安全な水を確保できていません。安全に管理されたトイレを使えない人は、約42億人にのぼり、不衛生な環境によって、病気を発症し、毎年200万人以上が命を落としています。

日本のような水資源に恵まれている国では、その資源を守る取り組みのほか、水災害を防ぐ治山治水が課題です。

■町の主な取り組み
公共下水道事業、水道管更新事業など

■地域・個人で実践できること
・お風呂の残り湯を洗濯に利用するなど、節水に努める

・水を汚さないよう排水溝に油を流さない

ゴール7
エネルギーをみんなにそしてクリーンに



世界の人々が、今なお大きく依存する石炭や石油などの化石燃料。その資源は有限で、地球温暖化の要因となる二酸化炭素などの温室効果ガスを排出します。そこで注目されているのが、太陽光や水力、風力、地熱といった再生可能エネルギーです。自然から得られる無限の資源で、温室効果ガスの排出もない再生可能エネルギーへの転換のほか、エネルギー消費量を抑えるため、各家庭での節電の取り組みが求められています。

■町の主な取り組み
住宅用太陽光発電設備導入促進事業、環境基本計画策定など

■地域・個人で実践できること
・電気を小まめに切るなど節電に努める
・再生可能エネルギーへの理解を深める

※12月1日号に続く

◆問い合わせ先 町政策企画課
企画調整係(☎82-3111-1
内線372)へご連絡。

令和4年成人式 受け付けを開始

申し込みは12月24日までです

町では、新成人の門出を祝い励ます「令和4年山田町成人式」を行います。

対象者のうち参加を希望する人は、電話か町中央公民館窓口で申し込んでください。

▽期日 来年1月9日(日)

▽時間 午後1時〜2時

▽場所

町中央公民館大ホール

▽対象者 平成13年4月2日

〜14年4月1日に生まれた人

▽申込期限 12月24日

▽留意事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によって日程の変更や中止を行う場合があります。

◆申込先・問い合わせ 町生涯学習課社会教育係(☎82-3111-1内線625)へ。

町長室から

今年もあと2か月。郵便局から年賀状の予約が届くと何となく浮足立つものがあり、12月に入れば一層慌ただしさを感じる。これが人間の感情なのだろう▼よく平常心という言葉聞く。字のごとく常に平らかな心という意味だが、鈍感とは異なる。かと言って敏感すぎても気が休まらない▼毎年、11月に町民芸術祭が開催され、恥ずかしながら私も書を出品している。今年は何を書こうかと考えていると「得意淡然、失意泰然」という言葉が目飛び込んできた。中国・崔後渠の教えて「得意な事は淡々とし、苦手な事はゆつたりと構えなさい」という意味だ。試しに一枚書いてみたが気に入らない。翌日も納得がいかず、結局、最初に書いたものに決めた。書一枚ですら平常心を保つのは難しいのだから、日々の生活ではなおさら「得意淡然、失意泰然」とはいかないものだと反省しきりの毎日である。

山田町長 佐藤 信逸



荒田 那菜さん(織笠・19)

を心待ちにしています。車好きな荒田さんは、「署内で一番大きな水槽車を乗りこなしたい」と大型自動車免許の取得にも意欲的です。今後の目標を訪ねると「どんな現場でも安心を与え、頼られる消防士になりたい」と、誇りと使命感を持って職務に励みます。

安心を与えられる消防士に

「幼い頃から人の命を助ける仕事に憧れていました」と、にっこりとほほ笑む荒田さん。昨年4月に宮古広域消防職員として採用され、消防学校での教育訓練を経て昨年10月から山田消防署で勤務しています。

「訓練が上手いかず落ち込むこともあります。何事も楽しくがモットーで、常にプラス思考で取り組むようにはしています。『訓練は失敗しながら覚えるものだ』という先輩の言葉も支えられています」と常に前向きな姿勢が光ります。

救急講習や消防訓練で町民と接する機会が多く、「日ごろの訓練の成果を発揮できるのがうれしいです」と、仕事のやりがいと手応えを感じています。

趣味はドライブ。「新型コンパクトウイルス感染症が収束したら車で旅行に行きたい」とその日を

キッチンスタジオ ハーモニー

No.151

このコーナーでは、町栄養士や山田町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんがちょびっとの塩でもおいしい料理、季節のおすすめや地元食材を使った料理などを紹介します。今回は、野菜の食感が楽しめる「手作りさつま揚げ」です。

【材料(2~3人分)】

タラ(切り身)…200g² はんぺん…60g² ニンジン…1/4本 ゴボウ…1/5本 ネギ…1/2本 大葉…3枚 油…適量
A(ショウガ(チューブ)…2g程度 卵…1/2個 しょうゆ…大さじ1/2 酒…大さじ1 砂糖…小さじ1 塩…ひとつまみ 片栗粉…大さじ3)

【作り方】

- ①タラは皮と骨を取り除いてぶつ切りにし、はんぺんは一口大の大きさにする。
- ②フードプロセッサーに①をいれ、細かくミンチにする。
- ③野菜をよく洗い、皮をむく。ゴボウはささがきにして水にさらし、ニンジンも千切り、ネギと大葉はみじん切りにする。
- ④ボウルに②と③を入れてよく混ぜ、Aを入れ、さらによく混ぜ合わせる。
- ⑤フライパンに3g程度の高さまで油を入れ、火にかける。
- ⑥油が150℃くらいになったら火を弱め、④を小判型に成形してゆっくりと油の中へ入れる。形が崩

手作りさつま揚げ

1人あたりの栄養素 206kcal、塩分1.3g²

- ⑦火の強さを中火にし、⑥を再度入れて両面がきつね色になるよう揚げる。油をよく切り、皿に盛り付けたら完成。

みんなのスペース

わたしの一枚



自宅前のコスモスがきれいに咲きました！今年に残暑が長いなと思いつながら撮りました。

小林秀人(大浦・27)



あべまなか(織笠・7)

やまだ 文芸広場

檜林

虫に食われし
檜枯れ死

松茸の

いつまで歩く
七十八歳

頂上の

山だの海を見る
息子と二人



齊藤フサ(織笠・78)

秋深き、

涼しくなり、
肌寒くなり、
だんだんと冬支度。

シュガー(船越・43)

御気嫌は

わづかに悪い
二人だけの
卓に残った
ゴーヤチャンプル

半開きの

ドアより
秋日入り来て
脱いだサンダルの
片方照らす

いっちゃん(豊間根・69)

何時の間

に

湧きぬ
秋の空

葉をまくり

太り具合を比べ見る
大根おろしは
握れるが良し

ラジオから

西行の歌

流れくる

昔ながらの
里の秋暮る

内館 洋一(飯岡・78)

広報クイズ No.292

全問正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント！3つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- ①移住者対談のテーマは「〇暮らして思うこと」？
A すみっこ B アパート
C やまだ
- ②家庭で年齢に見合わない負担を強いられている子どもは「〇ケアラー」？
A ヤング B シニア
C ジュニア
- ③「わらびの会」が子ども達と旧轟木小学校地内で収穫したのは「〇イモ」？
A サト B ジャガ
C サツマ

【応募方法】 はがきに下記の内容を記載しご応募ください。当選者の氏名、年齢、地区名は来月1日号で発表します。応募は1人1通です。

<p>63 〒028-1392 山田町役場 広報クイズ係 行</p>	<p>・クイズの答え (例) ①-A ②-B ③-C</p> <p>・氏名 ・年齢 ・住所 ・連絡先</p>
--	--

「みんなのスペース」へのイラストの投稿を兼ねる場合は、氏名などの情報を表面に記載してください。

【締め切り】 11月16日(当日消印有効)

【当選者発表】 前回の正解は、①-B、②-A、③-B でした。応募数は17通、抽選の結果次の10人が当選しました。

- ▶ 八幡町…阿部啓三(62)▶ 山田…後藤和子(87)▶ 織笠…中村代利子(?)、昆悦子(62)、あべまなか(7)▶ 船越…五十嵐奏恵(21)、菊地紗奈(4)▶ 豊間根…佐々木幸子(73)、豊間根成子(62)、芳賀秀子(62) (敬称略)

ぼくのゆめ

あべ きよと くん
(山田中央保育園・5)

たくさんサッカーの練習をして、おおきくなったら、サッカー選手になりたいです。



保育園の運動会

数日前、10月3日に保育園の運動会があるよと人づてに聞きました。当日は、早朝から快晴で運動会日和でした。

子どもみたいに、そわ、そわ、家事をすませて九時ごろ出かけた旧小学校校庭にはスタンバイができ、園児たちや先生方、父母さん達が楽しそうに見えました。

私たちの子育て時代と重ねてほほえましく感じました。コロナで校庭には入れないので、高台から未来を担う園児たちに「可愛い、可愛い」と口ずさみながらひとときを楽しみました。ありがとうございました。

社協の皆様へ

社協さんには日々お世話になっております。

町で、また、地域でボランティアさん達の着用のオレンジ色を見ると心が温かくなります。

私をはじめ、ひとりぐらしの年老いた人たちが多くので今日は織笠地区を各戸に立ち寄り安否確認かなと安堵しております。オレンジ色は、やる気・活力を起こしてくれる暖色系だそうです。地域社会のため、今後もよろしく申し上げます。気軽に話しができて、ありがとうございました。

菊地サカエ(織笠・86)

〇皆さんの投稿をお待ちしています〇

「みんなのスペース」では、皆さんからの投稿を募集しています。投稿規定を確認の上、郵送や電子メール、直接持参などで、発行日(毎月1日)のおおむね1か月前までに提供ください。

- ◆投稿規定 ▶住所、氏名(ペンネーム可)、年齢、電話番号を明記すること▶政治、宗教、営利を目的とするものや、特定の個人・団体をひぼう中傷するものは掲載できません▶行政広報として掲載することが適当でない判断されるものは掲載しません。
- ◆あて先・問い合わせ 〒028-1392(住所不要)山田町役場総務課情報係(☎82-3111内線416)へどうぞ。

海釣りでの事故多発 命を守る備え十分に

県内では、釣り人が海に転落する事故が多発し、9月だけで死亡事故が2件発生しています。釣りをする際は次の点に注意し、自分の命を守りましょう。

- ▷ 注意点 ▶ 複数人で行動する
- ▶ 気象・海象を把握する ▶ 行き先や帰宅時刻を家族に伝える ▶ 体調が悪いときは中止する ▶ 救命胴衣を常時着用する ▶ 連絡手段を確保する

◆ 問い合わせ 釜石海上保安部 交通課 ☎0193-22-3830へ。

18日に役場前で献血 みなさんのご協力を

岩手県赤十字血液センターでは、町役場玄関前で全血献血を行います。

- ▷ 期日 11月18日(木)
- ▷ 時間 ▶ 午前10時45分～正午 ▶ 午後1時30分～4時半
- ▷ 対象 16歳から69歳まで ※65歳以上の方は、60歳から64歳までの間に献血をしたことのある人

◆ 問い合わせ 町健康子ども課 健康づくり係(内線613)へ。

保育士と会計年度任用職員を募集

期限までに申し込みを

町では、来年4月に採用予定の保育士(任期付職員)と12月に任用予定の会計年度任用職員(税務課勤務)を募集します。応募を希望する人は次の内容を確認し、期限内に申し込んでください。

◎保育士(任期付職員)採用試験

- ▷ 採用人数 2人
- ▷ 受験資格者 昭和38年4月2日以降に生まれた人で、保育士の資格を有する人
- ▷ 任用期間 4月1日から1年間(採用日から5年を超えない範囲で任用期間を延長することができます)
- ▷ 試験内容 ▶ 第1次試験…書類審査 ▶ 第2次試験…個別面接
- ▷ 申し込み方法 受験申込書を持参または郵送で町総務課に提出してください。
- ▷ 受験申込書の配布 町町民課や町総務課で配布します。(町のホームページからもダウンロードできます)

◆ 郵便で請求する場合は、封筒に「町任期付職員採用試験書類請求」と朱書きし、返信用封筒(120円切手を貼付したA4判用紙を折らずに入れられる封筒)を同封し、申込先に送付してください。

- ▷ 受付期間 11月8日～30日 午前8時半～午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)

◆ 申込先・問い合わせ 町総務課行政係(〒028-1392山田町八幡町3-20 ☎82-3111内線411、418)へどうぞ。

◎会計年度任用職員(税務課勤務)

- ▷ 職務内容 一般事務補助や申告書発送、申告会場の受け付けなどの申告事務補助
- ▷ 募集人数 1人
- ▷ 応募資格 パソコンを操作できる人
- ▷ 任用期間 12月1日～来年3月31日
- ▷ 賃金月額 13万3,135円
- ▷ 申込期限 11月10日
- ▷ 申込先 町総務課行政係
- ◆ 問い合わせ 町税務課町民税係(☎82-3111内線112)へどうぞ。



18日から販売します

山田町商工会では「やまだ飲食店エールチケット(第2弾)」を販売します。今回のエールチケットは、1世帯につき2万円(4万円分)を購入でき、町内飲食店やタクシー利用の際に使用できます。取扱店の詳細は今号に同封の一覧表をご覧ください。

- ▽ 販売開始日 11月18日(木)
- ▽ 販売額 1セット4千円分(500円×8枚)を2千円で購入
- ▽ 販売数 1世帯10セットまで
- ▽ 利用期間 12月1日～来年2月28日
- ◆ 問い合わせ ▶ 山田町商工会 (☎82-25115) ▶ 町水産商工課商工観光チーム(☎82-3111内線219)へ。

総合防災訓練

11月7日(日)
午前8時開始

◆ 問い合わせ 町総務課危機管理室(☎82-3111内線415)へ。

町では、延期にしていた本年度の町総合防災訓練を11月7日(日)午前8時から行います。午前8時6分に防災無線やサイレン、緊急速報メールで避難指示を伝達しますので、避難を開始してください。

どのような災害でも「避難」という行動はとても重要です。各地区で起こり得る災害に対して、適切な避難行動がとれるよう、積極的に参加しましょう。

▽ 訓練内容 ▶ 津波避難訓練 ▶ 避難所開設運営訓練 ▶ 救出救助訓練

※詳細は広報やまだ9月1日号(2～3頁)をご覧ください。

◎ 5日に防災無線で訓練放送

▽ 日時 11月5日(金)午前10時ごろに大地震発生を想定した訓練放送を行います。

▽ 放送内容 「緊急地震速報。大地震です。大地震です。これは訓練放送です」

※気象・地震活動の状況などによって訓練放送を中止します。

おしらせ



大収穫！
（「わらびの会」イモ掘り会）

各種の無料相談 お気軽に利用を

◎心配ごと相談所

▷相談日 ▶11月10日(水)…中央団地集会所▶11日(木)…県営織笠アパート集会所▶17日(水)…大浦漁村センター▶18日(木)…豊間根生活改善センター▶24日(水)…川向コミュニティセンター

▷時間 午後1時半～3時

▷相談内容 普通の生活上の悩み事や福祉の心配事など

◆**問い合わせ** 山田町社会福祉協議会(☎82-3841)へどうぞ。

◎宮古地区法律相談

▷相談日 11月4日(木)、11日(木)、18日(木)、25日(木)

▷時間 午前10時～午後3時

▷場所 宮古市役所本庁舎1階(宮古市宮町)

▷相談内容 金銭トラブルや相続などの法律に関すること

▷申込先 宮古市市民相談室(☎62-2111)

◎山田町法律相談センター

▷相談日 11月2日(火)、9日(火)、16日(火)、30日(火)

▷時間 午前10時～午後3時

▷場所 町中央コミュニティセンター第1研修室

▷相談内容 法律に関する悩み事など

◆**問い合わせ** 岩手弁護士会(☎019-623-5005)へどうぞ。

◎行政相談所

▷相談日 11月25日(木)

▷時間 午後1時半～3時半

▷場所 町中央コミュニティセンター第2研修室、集会室

▷相談内容 行政機関への意見や要望など

◆**問い合わせ** 町町民課地域安全係(内線126)へどうぞ。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況では、中止や延期の場合があります。参加希望者は事前にお問い合わせください。

陸上自衛隊学校で 入学願書受け付け

◎陸上自衛隊高等工科学校入学試験

▷応募資格 次の全てを満たす人▶来年4月1日時点で15歳以上17歳未満の男子▶中学校卒業・中等教育学校の前期課程修了者(来年3月に中学校卒業・中等教育学校の前期課程修了見込みの人も含む)

・推せん試験

▷試験日 来年1月8日から11日までの間の指定する1日

▷受付期間 11月1日～12月3日

・一般試験

▷試験日 ▶1次試験…来年1月22日・23日のどちらか指定された日▶2次試験…来年2月3日から6日までの間の指定する1日

▷受付期間 11月1日～来年1月14日

◆**申込先・問い合わせ** 自衛隊宮古地域事務所(☎63-3881)へどうぞ。

里親制度と男女共同 参画パネル展を開催

◎里親制度パネル展

宮古児童相談所では、里親制度への理解を深めてもらうため、パネル展を開催します。

▷期間 11月1日(月)～12日(金)
▷時間 午前8時半～午後5時15分

▷場所 保健センター

◆**問い合わせ** 宮古児童相談所(☎62-4059)へどうぞ。

◎男女共同参画啓発パネル展

町では、県が行う「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、パネル展を開催します。

▷期間 11月20日(土)～28日(日)
▷時間 午前9時～午後5時
▷場所 まちなか交流センターロビー

◆**問い合わせ** 町政策企画課コミュニティ推進係(内線351)へどうぞ。

介護家族のための リフレッシュ教室

◎リフレッシュ教室

▷日時 11月18日(木)

午後1時～2時半

▷場所 まちなか交流センター

▷内容 クリスマスリース作り

▷対象 家族を介護している人や介護を受けている人など

▷費用 350円(材料費)

▷申込期限 11月15日

◆**申込先・問い合わせ** 山田町地域包括支援センター(☎82-3136)へどうぞ。

認知症予防学ば 座談会あります

町では、健康座談会を開催します。どなたでも参加でき、申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。

▷期日 11月16日(火)

▷時間 午前10時～11時30分

▷場所 大浦漁村センター

▷内容 講話「みんなで楽しく認知症予防」、レクリエーション、血圧測定、ラジオ体操

▷費用 無料

◆**問い合わせ** 町健康子ども課(内線615)へどうぞ。

不登校児童など対象に オンラインで学習支援

フリースクール花鶏学苑では、不登校や学力不振でお悩みの小・中学生の学習をサポートする「おうちdeフリースクール」の利用希望者を受け付けています。利用料は無料で、オンライン学習システムなどを活用しながら計画的な学習を進めることができます。希望する人は、電話やメールでお問い合わせください。

▷対象 山田町・宮古市・岩泉町・田野畑村在住の小・中学生とその保護者や教育関係者
▷受付期限 令和4年6月まで
◆**問い合わせ** フリースクール花鶏学苑(☎65-8535/メール info@atori-gakuen.com)へ。

各種作品づくり ご参加ください

◎昔のアクセサリーブクリ

▷期日 11月13日(土)、14日(日)

▷時間 午前10時～午後2時

▷場所 町中央公民館ロビー

▷内容 ▶勾玉作り▶土面ペダント作り

▷費用 無料

※町民芸術祭アートフェスティバルの企画として開催するので申し込みは不要です。

◆**問い合わせ** 町生涯学習課文化係(内線631)へどうぞ。

◎折り紙教室

▷期日 12月5日(日)

▷時間 ▶午前9時半～11時半
▶午後1時～3時

▷場所 町中央コミュニティセンター郷土資料室

▷内容 菊の花作り

▷定員 各回10人(先着順)

▷申込期限 11月26日

◆**申込先・問い合わせ** 町生涯学習課社会教育係(内線624)へ。

バドミントン大会 参加者募集します

◎第40回山田町民バドミントン大会

▷日時 11月28日(日)

午前9時開始

▷場所 山田中学校体育館

▷種目 ▶男子ダブルス▶男子シングルス▶女子ダブルス▶女子シングルス

※それぞれ1部と2部があり、1部は上・中級者、2部は初級・初心者対象です。

▷対象 中学生以上の町民または町内で勤務している人

▷参加料

▶ダブルス…1組800円

▶シングルス…1人400円

※中学生は半額

※スポーツ損害補償料含む

▷持ち物 室内用運動靴

▷申込期限 11月24日

◆**申込先・問い合わせ** 山田町バドミントン協会事務局(岡市☎84-3516)へどうぞ。

おめでとう・おくやみ

- 9月届け出分（敬称略）
- 〔出生〕**（ ）は性別と保護者
- ▷ 山田 貫洞大和(男・健吾)、小林優豪(男・悠樹)、佐々陽茉莉(女・幸悦)
 - ▷ 織笠 平野晏侖(男・正通)、佐々木大耀(男・慧)、坂本結暖(男・将司)、中村来斗(男・龍也)
 - ▷ 豊間根 菊地理仁(男・孝幸)
- 〔結婚した二人〕**（ ）は住所
- ▷ 臺聖哉(釜石市)・三浦麗奈(船越)
 - ▷ 佐藤満博(豊間根)・古澤留美(大船渡市)
- 〔死亡〕**（ ）は年齢
- ▷ 山田 鎌田雅人(78)、内館タニ(88)、千代川ハツ代(100)
 - ▷ 船越 山崎テル(86)、上林ユキ子(96)
 - ▷ 田の浜 平塚トヨ(93)
 - ▷ 大浦 赤瀬勝行(80)、阿部リミ(94)
 - ▷ 織笠 佐々木トメ(96)、昆俊平(97)、田村隆(80)
 - ▷ 大沢 阿部リホ(85)、鈴木由雄(85)
 - ▷ 豊間根 木村洋子(75)、尾形廣志(71)、伊藤トヨ(98)
 - ▷ 石峠 佐々木英明(86)
 - ▷ 荒川 芳賀信夫(86)、山口雄一(83)



※敬称略、()内は地区名・性別・保護者です。



町民のうごき

(9月1日～30日)

- ▷ 出生……8人 ▷ 転入……19人
- ▷ 死亡……22人 ▷ 転出……19人

- ▷ 人口…14,848人(今月減14人)
- 男…7,261人 女…7,587人
- ▷ 世帯数……6,513世帯

11月9日から15日まで 秋の全国火災予防運動

11月9日から15日まで「おうち時間 家族で点検 火の始末」を防火標語に、秋の全国火災予防運動が行われます。寒くなるこれからの季節は、暖房器具を使用する機会が多くなり空気が乾燥しやすいので火の取扱いには十分注意してください。

◎火災警報器の設置と点検お済みですか
皆さんの自宅には住宅用火災警報器が設置されていますか。火災警報器の設置は法律で義務付けられています。未設置の人は早めに行うようお願いします。設置後は消防署への届け出が必要ですので新たに設置した人や、まだ届け出をしていない人は忘れずに行ってください。警報器は電池切れや故障により作動しない場合があるため、日ごろの点検が重要です。有事に備え定期的に点検を行いましょう。

◆届出先・問い合わせ 山田消防署予防係(☎82-3139)へ。

ピンボケ

◆移住者対談では「時報チャイムへのカルチャーショックなど、記事には書ききれなかった率直なお話もとても参考になりました。ご協力いただいたお二組、貴重なご意見ありがとうございました。」
◆新しく広報担当になった(中)です。とはいつても、選挙が重なって広報の仕事ができていませうが、これから広報づくりの難しさを味わうでしょう。今もピンボケを考えるのでさえ悩んでいます。